

再評価【番号5】河川整備課

広域河川改修事業
二級河川勝浦川水系 勝浦川

1. 河川の概要

二級河川 勝浦川

上流端 上勝町生実

下流端 海

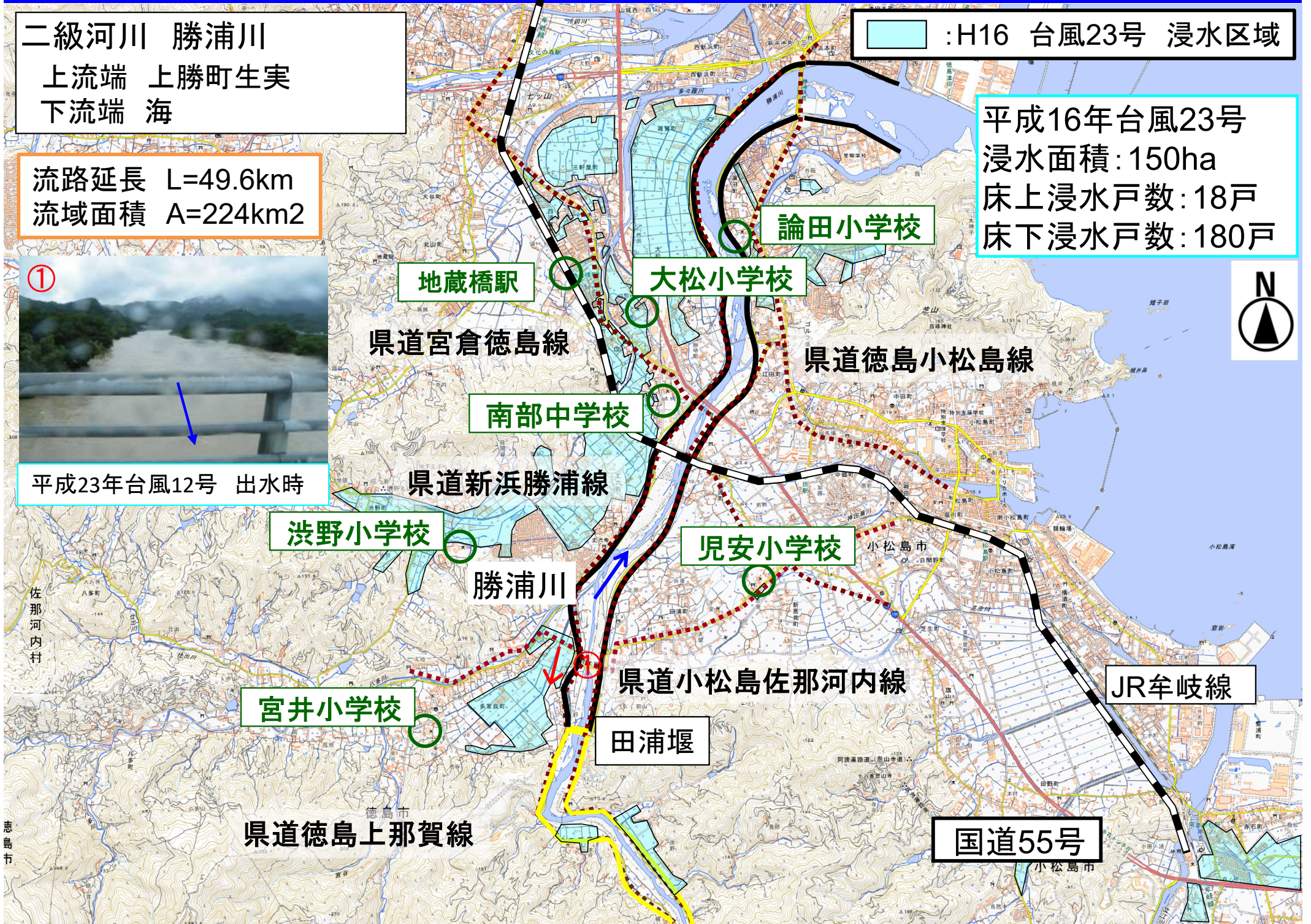
流路延長 L=49.6km
流域面積 A=224km²



平成23年台風12号 出水時

 :H16 台風23号 浸水区域

平成16年台風23号
浸水面積:150ha
床上浸水戸数:18戸
床下浸水戸数:180戸



2. 事業概要

徳島市論田新開～多家良町野上

R4迄工事区間: 黒線
R5工事区間: 赤線
R6以降残区間: 黄線

《進捗率》

事業費：46%・用地：80%



県道宮倉徳島線

県道徳島小松島線

県道新浜勝浦線

JR牟岐線

勝浦川

田浦堰の改修

県道
小松島佐那河内線

国道55号

県道
徳島上那賀線

全体事業費

105.5億円 (変更なし)

完成時期

令和30年度 (変更なし)

堤防・護岸整備、
河道掘削 等

残延長
L=2,000m

広域河川改修事業(S11～)
全体改修延長 L=10,200m

3. 整備効果

貨幣換算可能な整備効果

【治水経済調査マニュアルによるB/C】

- ・ 家屋、事業所等被害
- ・ 農作物被害
- ・ 公共土木施設被害
- ・ 営業停止被害
- ・ 応急対策費用 など

↓ 被害軽減期待額
= 便益B
計 9,636.5億円

(現在価値化後)

費用C = 2,040.9億円

(現在価値化後)

$$\frac{B}{C} = 4.7$$

【水害の被害指標分析の手引きによる便益】



経済被害の域内・外への波及被害

出水1回当たり 15.29億円の被害を軽減

交通途絶による被害

出水1回当たり
8,800万円の被害を軽減

出水1回当たり被害額
= 16.2億円

4. 多様な効果

貨幣価値に表れない整備効果

人的被害の軽減

浸水区域内人口	15,710人
浸水区域内の災害時要援護者数	6,058人
最大孤立者数	12,781人

医療・社会福祉施設等の機能低下による被害軽減

機能低下する医療施設数	
徳島赤十字病院など	3 施設
機能低下する社会福祉施設数	
勝占認定こども園	92 施設

防災拠点施設の機能低下による被害軽減

機能低下する主要な防災拠点施設数	
大原町交番など	2 施設

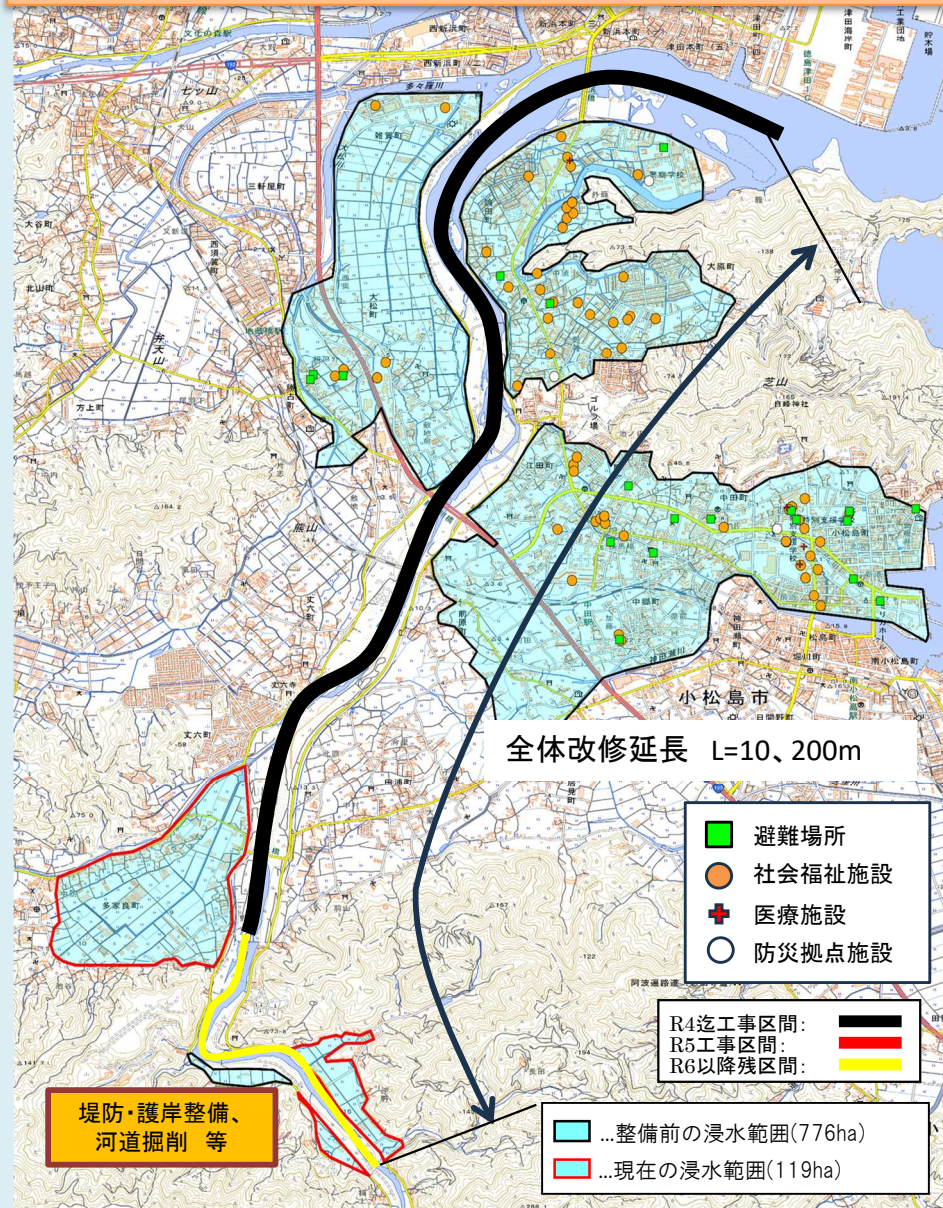
→災害発生時の機能維持

ライフライン停止による波及被害の軽減

電力の停止による影響人口	9,959人
ガス停止による影響人口	7,034人
上水道停止による影響人口	336人
通信(固定)の停止による影響人口	10,066人

→住民生活環境の維持

【水害の被害指標分析の手引きによる便益】



5. 事業評価結果

貨幣換算可能な整備効果

【治水経済調査マニュアルによるB/C】

- ・家屋、事業所等被害
- ・農作物被害
- ・公共土木施設被害
- ・営業停止被害
- ・応急対策費用 など



被害軽減期待額
= 便益 B

計 9,636.5億円
(現在価値化後)

費用 C = 2,040.9億円
(現在価値化後)

$$\frac{B}{C} = 4.7$$

出水 1 回当たり被害額 = 16.2億円
(交通途絶被害、経済の波及被害等)

貨幣価値に表れない整備効果

【水害指標に基づき算出した便益】

人的被害の軽減

- ①浸水区域内人口の減少
- ②浸水区域内災害時要援護者数の減少
- ③浸水区域内最大孤立者数の減少

医療・社会福祉施設等の機能低下による被害軽減

- ①機能低下する医療施設数
- ②機能低下する社会福祉施設数

防災拠点施設の機能低下による被害軽減

- ①機能低下する防災拠点施設数

ライフライン停止による波及被害の軽減

- ①電力の停止による影響人口
- ②ガス停止による影響人口
- ③上下水道停止による影響人口
- ④通信の停止による影響人口

■ 今後の対応方針 (案)

事業継続